

唐津市 ★★★★★★

# 議会だより

第37号(平成25年5月1日)

## 目次

- ・平成25年度当初予算 …… P 2
- ・議案質疑 …… P 3～P 4
- ・予算等特別委員会審査報告 …… P 5～P 6
- ・一般質問 …… P 7～P15
- ・意見書(要旨)・請願審査報告 … P16
- ・編集後記 …… P16

## 宗吾霊廟(七山馬川)

- ・さが名木100選に選定された藤棚
- ・地元では、唐津城の藤の親木といわれている



唐津城の藤棚



◎ 発行：唐津市議会

◎ 編集：「唐津市議会だより」編集委員会

☎ 72-9162 FAX 75-1515

(☎ 847-8511 佐賀県唐津市西城内1番1号)



# 平成25年度当初予算を承認しました!

## 一般会計予算は **556億6,741万5千円** (骨格予算)

1. 市 税	121億3,271万6千円	9. 国庫支金	69億2,369万0千円
2. 地方譲与税	4億8,485万9千円	10. 県支出金	46億2,184万5千円
3. 地方消費税	10億9,783万2千円	11. 財産収入	3億 734万5千円
4. 自取得税	8,465万6千円	12. 繰 入 金	5億1,180万5千円
5. 地特例交金	4,217万4千円	13. 諸 収 入	13億9,932万3千円
6. 地交付税	215億1,094万7千円	14. 市 債	41億4,120万0千円
7. 分負担金	10億2,322万6千円	15. その他	1億 329万1千円
8. 使用料	12億8,250万6千円		

### 歳 入

1. 議会費	4億2,077万7千円	8. 土木費	36億 497万3千円
2. 総務費	51億3,269万9千円	9. 消防費	18億5,578万1千円
3. 民生費	186億7,105万8千円	10. 教育費	47億9,642万7千円
4. 衛生費	63億5,136万8千円	11. 災復費	2,100万1千円
5. 労働費	5,108万0千円	12. 公債費	92億8,439万0千円
6. 農林水費	34億9,426万9千円	13. 予備費	1億2,003万4千円
7. 商工費	18億6,355万8千円		

### 歳 出

## 特別・企業会計の総額は **713億2,539万2千円**

・ 国民健康保険特別会計	163億5,479万円
・ 後期高齢者医療特別会計	14億3,288万円
・ 介護保険特別会計	117億 686万円
・ 簡易水道特別会計	16億9,433万円
・ 下水道特別会計	60億9,423万円
・ 集落排水特別会計	9億6,993万円
・ 浄化槽整備特別会計	3億8,092万円 ほか
・ 水道事業会計	57億8,771万円
・ モーターボート競走事業会計	244億6,186万円

安全運転で・・・!

### 特別・企業会計

【3月補正予算】は **33億584万4千円**  
**緊急経済対策事業** に  
**45億2,074万円**

(これは過去最高額：市民1人当り3万5,000円)

デフレ脱却の緊急経済対策予算を承認しました。

#### 対策の概要は

地震、原子力災害等に対する防災減災対策

25億8,921万8千円

社会資本等の点検・補修及び更新

3億9,131万2千円

生活空間の安全確保とインフラ整備促進

13億9,056万6千円

農林水産業の活性化

1億4,964万4千円





# 議案質疑

提出された67件の議案に対して各会派から18名の議員が質疑を行いました。要約して報告します。

## 議案第1号 平成25年度唐津市一般会計予算

### 1. 予算の特徴は

質疑 平成25年度予算(案)を編成するにあたっての考え方は。

答 弁 今回、1月下旬に市長・市議選があり、義務的経費を主体とした骨格予算で編成。市民生活に直結をする福祉、少子高齢化対策、教育、そして年度当初から予算化が必要な防災関連事業費、県の基金を活用した緊急雇用事業費、住宅リフォーム助成補助金など切れ目のない対応を要するものについて予算措置を行った。

### 2. がんばる地域応援補助金……1,500万円

質疑 地域に偏重があるのではないか。これまでの現状を。

答 弁 平成24年度までで、ソフトで319件、ハードで45件の計364件の実績。今後、事業内容を広く周知することによって、多くの地域から多くの応募があるよう取り組む。

質疑 この事業を地域で柔軟に適用し、拡大していただきたい。

答 弁 拡大する旨で検討を進めている。地域の人が地域で使うということで、使い易く元気を出していただけるような事業にしていく。

### 3. 障害者支援の拠点施設等整備費……1,944万9千円

質疑 全体事業費と事業の工程は。

答 弁 旧城内閣改修のための実施設計費を計上しており、事業費の積算はまだ出来ていない。今後のスケジュールは、4月から設計に着手し8月建築確認の許可があり次第工事に着手する予定であり、平成26年6月の開設を目指したい。

質疑 施設の詳細は。

答 弁 障害者支援の拠点施設として1階部分については、集団遊戯室、日常訓練室といった、あゆみ教室と事務室を計画、2階については機能訓練施設と視覚聴覚障害者の情報支援センター、ボランティア団体活動スペース、相談支援センターなどを配置、3階部分は書籍等の格納倉庫、会議室等を考えている。4階には親子が気軽に立ち寄り遊べるような、屋内遊園地等を検討している。

### 4. 猪等駆除事業費……2,517万8千円

質疑 平成25年度の予算概要と併せて平成24年度予算の減額の理由は。

答 弁 本年度の概要は、猪等の捕獲報奨金・駆除委託費負担金1,413万7千円、捕獲檻の設置・猿被害対策等に対する負担金282万9千円、捕獲餌・事務費等659万4千円、電気ボク柵設置負担金161万8千円となっている。交付金制度は当初23年度のみとなっていたが、平成24年・25年度も交付金として支給する事となり、平成24年度予算で計上していた市負担分を今回の補正予算で減額とした。

### 5. 観光関連分野雇用創出事業費……8,644万9千円

質疑 事業の目的と内容は。

答 弁 唐津観光の推進と、唐津の情報発信や受入れ体制整備を充実させるために、県の緊急雇用創出基金を活用し実施可能なものを提案している。外国人観光客誘致促進事業は、英語、韓国語、中国語を話せる3名を雇用し、外国人観光客の受入れ体制を整備するとともに、海外での観光PR事業の業務を行う。観光おもてなし姫君隊事業は6名の雇用を予定し、唐津城の魅力を広く発信するため、おもてなし姫君隊(仮称)を創設し唐津城や城下町をPRするもの。観光商品PR事業は4名の雇用予定で、多様な観光ルートを構築して広く情報を発信するとともに、観光会社、旅行会社に対する営業活動を行い観光客の誘致を行う。観光情報発信ラジオ番組等制作事業は4名の雇用予定で、ラジオを活用し県内、長崎さらには福岡をターゲットに、唐津の情報発信を強化するもの。

質疑 事業の委託先と選定方法は。

答 弁 外国人観光客誘致促進事業は、唐津駅を拠点に考えているので、随意契約で観光協会を委託先としている。観光おもてなし姫君隊事業と観光商品PR事業は、市内の企画会社との企画コンペにより選定したい。観光情報発信ラジオ番組等制作事業は、県内のラジオ局の特性あるいは、放送枠等を比較検討し選定したい。

## 6. 防災情報ネットワーク整備計画費……5,526万円

質 疑 この事業の全体的なイメージと今回の整備計画について説明を。

答 弁 全体的なイメージは、防災情報の伝達手段として多様な手段を有しているが、それらを防災センターで防災情報を一元的に管理し、複数の手段で統一的に伝達できるようなシステムを構築していくということ。

今回の整備計画は、防災行政無線が合併前の旧市町村のままの状態であり、統一的なものがないので、防災センターで統一的に情報が防災無線で発信できるようにするもの。

### 議案第18号 組織変更に伴う関係条例の整備に関する条例制定について

質 疑 組織変更の狙いは。

答 弁 今後の唐津市のまちづくりにとって、組織がどうあるべきかという政策目的を達成するための組織改革に取り組んだ。共通認識として、①組織のスリム化 ②市民に解かり易い組織及び名称の検討 ③教育委員会の職務権限見直し ④長期的な組織のあり方に向けた先導モデルの検討の4つの認識をもとに行った。

質 疑 どのような組織になるのか。

答 弁 「農林水産部」と「商工観光部」を再編し、1次産業から2次産業まで生産・流通・消費まで対応できるよう、「農林水産商工部」とする。

「建設部」に下水道部門を編入し「都市整備部」。

教育委員会が所管する、文化とスポーツ部門を市長部局へ移管する。教育委員会は、学校教育と社会教育に特化し組織変更を行う。

文化とスポーツは本市における重要な資源であり、観光と連携することで、文化資源を活用したまちづくりを可能にするために「観光文化スポーツ部」とする。

企業会計導入に伴い「競艇事業部」を「ボートレース事業部」に、「水道部」を廃止し「水道局」とする。

### ◎議員提出議案第2号 唐津市議会委員会条例の一部を改正する条例制定について

議案第18号の議案が可決後、議員提出議案第2号 唐津市議会委員会条例の一部を改正する条例制定について提案し、「建設水道委員会」を「都市整備委員会」と名称を変更し、各委員会の所管について整理した。

### 議案第53号 平成24年度唐津市一般会計補正予算

#### 1. 原子力災害対策施設等整備費……15億円

質 疑 国の平成24年度の緊急対策の予算だがどのような事業内容か。

答 弁 この事業の国の補整予算額111億円の内、佐賀県へ18億円が配分され、そのうち15億円が原子力災害時に、避難困難な要介護者や離島の住民等の一時的な屋内退避施設の整備を行う。

#### 2. 過疎集落等自立再生緊急対策事業費……1,230万円

質 疑 対象離島（加唐島、松島、馬渡島、小川島）4島であるが、何故4島だけが対象なのか。

答 弁 4島の共通点として、呼子離島航路の離発着港であり一体性有りと判断され採択となった。

質 疑 国の緊急経済対策であるが、唐津市は事業実施後における今後の方向性についてどのように考えているのか。

答 弁 平成25年度から、新しい離島振興計画策定のもと、離島振興活性化交付金が創設されることとなっており、その交付金を活用し継続を図って行く。

#### 3. 地域農業水利施設ストックマネジメント事業費……666万7千円

質 疑 浜玉畑総土地改良区、上場土地改良区、鏡久里土地改良区それぞれの、事業内容について。

答 弁 国の緊急経済対策に伴い、各改良区の老朽化した幹線水路、加圧機場、パイプラインの補修に対する補助を行う。

質 疑 特定財源である一般補助施設整備等事業債の交付税率と償還年はどのようになっているのか。

答 弁 事業費に対する唐津市の負担に関して起債の充当率は100%となっている。また、交付税参入率は50%となっており、国からの通知によると緊急経済対策に伴い残事業の50%についても別途措置される予定である。起債の償還期間については、3年据置、15年償還。





# 予算等特別委員会審査報告

## 3月定例会

### 総務教育分科会

◎組織変更に伴う関係条例の整備に関する条例制定について  
◎唐津市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例制定について

【質問】職務権限移譲について考慮した点は。

【答弁】地方教育行政の組織及び運営に関する法律改正を受け、市長部局と協議した。

【質問】職務権限移譲後の市長部局との連携は。

【答弁】教育委員会が推進してきた施策の継続性に配慮し、各部署との連携した取り組みが必要。社会教育については、指導・助言等を行い文化・スポーツの振興を推進する。

【質問】スポーツの中に「教育的精神がある」という認識が、薄れる心配があると思うが、薄れる重要性が指摘された。

【答弁】教育委員会内部でも連携の重要性が指摘された。

◎姉妹都市訪問費  
【質問】中国揚州市訪問に9名予定されているが目的は。

【答弁】揚州市については、姉妹都市締結30周年記念行事が控えているため。

【質問】世界情勢を見ると不安を感じるが。

【答弁】国家間の対立は毅然とした態度を取りながらも、草の根交流は非常に重要である。地道な交流が全体的な関係改善に結びつくと考えられる。

◎唐津焼プロジェクト費  
【質問】サテライトスタジオという目的であれば別の場所も考えられるが。

【答弁】佐賀大学が事務費を負担。家賃の面で現在地に決定した。まずは作家が集いやすい場所を

選定。展示は、まちなかのギャラリー等を使用する。

◎消防団報酬費  
【質問】団員の定数削減を行っても定員を割り込んでいるが。

【答弁】随時募集して団員の定数確保に努める。

【質問】随時募集とは。  
【答弁】入団については月ごとの入団を認めている。

【質問】団本部員30名定員に対し10名程の入団希望と聞くが、市職員は外さないのか。

【答弁】支団員との兼務も含め、支団長会議で協議して行く。

◎小学校ICT教育推進事業費  
【質問】電子黒板の配備状況は。

【答弁】平成24年度から3年間で市内の小中学校への配備を予定。3割程度配備済。

【質問】副読本で電子教科書唐津版作成の計画は。

【答弁】子供たちが地域の事を見て学べるようなものを作れないか検討する。

◎原子力災害対策施設等整備費（繰越明許費）  
【質問】施設限定の費用なのか。他の対策にも対応出来るのか。

【答弁】既存避難所の放射線防護対策費用。放射線防護機能を高める為改修を行う。

【質問】具体的な改修方法についてまとまる時期は。

【答弁】現在の見通しとして、平成25年度中の事業完了は非常に困難な状況である。

《現地調査》

- ・風レンズ風車（神集島）
- ・大志小学校屋内運動場
- ・佐賀大学ひと・もの作り陶磁研究所（魚屋町）

### 産業経済分科会

◎唐津市モーターポート競走事業会計予算について  
【質問】2階フロアの利用及びテナントの導入は。

【答弁】今あるポートレース場全体をどうするかを決めた後にテナントの導入とか、2階をどうするかを検討をしたい。

◎唐津市モーターポート競走事業の設置等に関する条例制定について  
【質問】管理者の決定時期は。

【答弁】今の市長の任期中。遅くとも任期の一年前までに決めたい。

◎浜玉町農村環境改善センター等運営費及び肥前町農漁民センター運営費  
【質問】公民館類似施設として整理できないのか。

【答弁】浜玉の改善センターについてはいくつか整理をした。農漁民センターについては今後の施設整備もあるので、その中で両センターについては公民館と同列にした方がいいのかを議論していく。

◎賑わいのまちづくり推進事業費  
【質問】タウンマネージャーは市が雇用するのか。

【答弁】市の雇用ではなく、まちづくり会社が雇用する。

【質問】まちづくり会社の本旨を再認識すべきではないか。

【答弁】関係者と連携、協議を行い、まちづくり会社の目的の本旨を再確認していく。

尚、付帯意見として、賑わいのまちづくり推進事業の実施にあたっては、まちづくり会社設立の初期の精神を再認識し、中心市街地活性化のための関係者との十分な協議を行い、事業の目的を達成するよう強く求めます。

《現地調査》

- ・パイプライン布設替（浜玉町）
- ・高機能ハウスの整備（浜玉町）
- ・歴史的資源調査発掘事業（東城内）



高機能ハウスの整備

## 建設水道分科会

◎平成24年一般会計補正予算について

**質問** 補正の内容は。

**答弁** 国が交付する社会資本整備総合交付金の減額による補正。国の政権交代で補正された緊急経済対策事業予算の繰越明許費である。

**質問** 繰越明許費の内容は。

**答弁** 全体で52ヶ所の地区と箇所を設定したが、10ヶ所が土地絡みで遅れ気味である。42ヶ所は4月に発注の予定。

**質問** 唐津城の基礎杭は。

**答弁** 工法の検討に時間を要した。一期工事が平成27年度まで延びる。二期工事で茶室の下まで行う。全体で平成31年度完了予定。

◎道路橋梁維持費中道路照明管理費について

**質問** 学校統合に伴う通学路の変更による問題は。

**答弁** 統合した校区では教育委員会と協議をする。防犯等について要望が上がれば設置要綱で対応する。

**質問** 第2弾の子供を守る防犯灯事業等は取組めないのか。



唐津浄水センター

**答弁** 学校統合の問題や、新しい住宅団地開発もあるので、教育委員会とも協議し検討する。

◎唐津市浄水センター再構築事業工事委託に関する基本協定の一部を変更する協定締結について

**質問** 再構築事業の内容は。

**答弁** 平成25～29年度まで行う。総事業費は10億1600万円。

《現地調査》

- ・都市公園条例の一部改正
- ・唐津浄水センター長寿命化工事事業
- ・唐津城石垣再構築事業

◎障害者支援の拠点施設等整備費について

**質問** 最初の計画案と予算が大幅に違うがなぜか。

**答弁** 用地買収と建物を建てる計画が19億円だったが、既に建物が出た土地を安く買収出来たため。

**質問** 旧城内閣を改修してすべての機能が入り込めるのか。

**答弁** 現在の障害者福祉会館は面積が912㎡で旧城内閣はワンフロア約1000㎡で1階、2階で十分な機能配置が出来ると思う。

**質問** 駐車場は足りるのか。隣接駐車場の借用料は。

**答弁** 1階を少し改修して市道側にある民間のを借りる予定だが、まだ具体的な話はしてない。

**質問** 現在の障害者福祉会館は駐車場として利用する計画はあるのか。

**答弁** 駐車場としての計画はない。市の施設等で臨時的に使えないか検討する。

◎清掃センター維持管理業務費等について

**質問** 焼却施設定期点検整備の年2回の内容と焼却灰の処分費用は。

**答弁** 整備内容については、平成22年度は焼却炉整備、



唐津市清掃センター

再加熱空気過熱機補修工事、集塵機整備、灰固化設備、平成23年度は焼却炉、集塵機、搬送コンベアー、ゴミ投入扉。固化灰の処分実績は、平成22年度が5471トンド、平成23年度が5466トンド、23年度が5466トンドで1億2176万円。

**質問** 耐用年数は15年ぐらゐと聞いたが本当は何年ぐらゐなのか、長寿命化、延命化対策はどうするのか。

**答弁** 環境省によると大体20年となっている。長寿命化計画が一般的になって30年から40年になっている。

《現地調査》

- ・障害者支援の拠点施設（旧城内閣）
- ・唐津市清掃センター（北波多）

ふたつの特別委員会を設置しました。(平成25年3月26日) ◎委員長 ○副委員長

### 玄海原子力発電所対策特別委員会

◎井本 敏男 ○山中 真二 熊本 大成 三浦 重徳  
 富田 幸樹 伊藤 泰彦 井上 常憲 伊藤 一之  
 中村 健一 古藤 豊志 井上 祐輔 浦田 関夫  
 青木 茂 進藤 健介 宮崎 卓 白水 敬一

### 新エネルギー等対策特別委員会

◎水上 勝義 ○志佐 治徳 江里 孝男 吉村慎一郎  
 大西 康之 馬場 幸年 笹山 茂成 石崎 俊治  
 檜崎三千夫 堤 武彦 田中 秀和 山下 正雄  
 平野 潤二 百武 弘之 宮崎 千鶴 中川 幸次



# 一般質問



井上 常 憲  
(清風会)

**学力テストの公開について**  
【質問】武雄市は公開しているが唐津市は公開する考えは。

**教育長** 国の実施要綱に準じ公開しない。

**質問** テストの結果をどう活かしているか。

**教育長** 懇話会を立ち上げ「いきいき学ぶ唐津っ子育成事業」などに活かしている。

**質問** A-LTを使った英語教室などは検討されないか。

**教育長** 兼業などは禁止されている。

**企業誘致について**

**質問** 唐津の優位性は何か。  
**部長** 中国東アジアに近い、

自然災害が少ない、豊富な労働力と自然資源など。

**質問** コスメ産業集積とは何

## 市政のここが知りたい

3月定例議会の一般質問は、3月13日～18日の4日間でわれ、26名の議員が登壇しました。

## 市民の声を代弁する一般質問の掲載について

一般質問の記事は、決められた文字数のなかで、議員本人が質問・答弁の原稿を提出し、その内容に相違がないときは原則として原文のまま掲載をしています。

質問の文章を多くしたり、答弁を詳しく表現するかは各議員の判断としています。

**部長** 化粧品関係産業の集まりで、唐津に関心を集めている。

**第一次産業への燃料費の補助について**

**質問** A重油が1ℓ100円近くになった、国県の対策は。

**部長** 「燃料価格高騰緊急対策」としてリース代補助やセーフティネット構築事業がとられようとしている。

**道路の景観保護について**

**質問** 花の植栽など道路景観保全活動をしている団体は。

**部長** 緑の基金活用の27団体などがある。今後ボランティア団体の組織化に向けた検討を行いたい。

**国民の祝日における国旗の掲揚について**

**質問** 国旗掲揚の呼びかけは、  
**部長** 義務ではないので行政での呼びかけはしない。



JAからつのハウスみかん



井本 敏 男  
(志政会)

**国の緊急経済対策の波及効果について**

**質問** 今回の国の「日本再生に向けた緊急経済対策」の予算規模、及び本市における国の資金の配分額、そして本市の経済対策の概要を伺う。

**部長** 長引く円高・デフレ不況から脱却して、雇用や所得

**質問** 唐津の和の文化の継承は。  
**部長** 情報発信等に務めたい。

の拡大を目指すため、経費の総額10兆2815億円が国の補正予算の中に盛り込まれた。対策として、「防災・減災対策」「暮らしの安心・地域活性化」など、国の経済対策の基本的な考えを踏まえた。  
**質問** 本市の経済効果をどのように考えるか。  
**部長** 経済対策の関連の予算が45億円、その1.7倍の77億円の経済効果となる。  
佐賀大学海浜台地研究の実用化について

**質問** 施設誘致に至った当時の経緯について伺いたい。

**部長** 研究センターが誘致された経緯は、市の働きかけと大学の地域貢献への思いが一致した結果と考える。

**質問** 研究センターを誘致した最大の目的は何か。

**部長** 海浜台地における高度な農業生産体制の確立と、台地に適した作物選定や品種開発、土壌改良、大気の調査分析を行うとともに、海洋資源の開発・研究等を地元と協力し、進めることである。

**質問** 研究成果の実用化は、

**部長** 是非そうなるように努力したい。

**観光産業の推進について**  
**質問** ジオパーク構想をどう考える。

**議会を傍聴してみませんか**

3月定例議会の傍聴者は、本会議 延べ45名でした。  
次回の市議会定例会は6月に開かれる予定です。  
車椅子専用の傍聴席（2席）も整備されています。



海浜台地研究センター

**市長** 先進地調査をして研究する。



江里 孝男  
(志政会)

厳木バイパスについて

**質問** 岩屋から(仮称)長部田インターまでの2.1kmはいつ供用開始になるのか。

**部長** 平成25年度供用開始の予定。

**質問** 地域から要望が出されていた排水路、信号機は供用開始までに完成するのか。

**部長** 排水路は平成27年度、信号機は、供用開始までに設置できるように要望したい。

**質問** 長部田から唐津間の道路については、多久・佐賀間が完了してから聞いたが、相知唐津間も重要な路線である。早期に着工していただくように要望していただきたい。

**市長** 多久佐賀間と相知唐津間が同時に施工できるように要望していきたい。

厳木川の河川改修について

**質問** 田頭橋はいつ完成の予定か。

**部長** 今年3月開通予定。

**質問** 田頭橋上流の河川改修はどうなっているのか。

**部長** 平成25年度に楠川合流付近まで河道掘削が行われる。

**質問** 上流には国道橋、鉄道橋、本山頭首工、白山川の出

口の問題がある。この問題をどうとらえているのか

**部長** 問題があることは、承知している。

**質問** 町切地区の圃場整備の換地で河川改修について理解のある方を貼りつけたいきさつがある。よって早期に着工されるように要望していただきたい。

**市長** 一日も早く着工できるように要望していきたい。



厳木川(本山地区)



水上 勝義  
(志政会)

国道203号線の進捗状況について

**質問** 国道203号線歩道は山本駅から佐賀方面が遅れていると思うが、進捗状況は。

**部長** 平成19年より事業化され平成21年より730mの用地交渉が始まり平成23年度より整備が行われ、JR山本駅から唐津市街地へ歩道が300m整備される。

**質問** 今後の整備はどの様にされるのか、方向性と期間は。

**部長** 平成25年度は山本駅から唐津市街側の西側の歩道が整備される予定である。全区間を平成27年度までに完成を目標に努力されている。

**質問** 山本駅周辺の整備について、駐輪場とトイレの整備はどの様にされるのか。

**部長** 駐輪場は、現在の位置に100台を確保した駐輪場を整備する。トイレについては、歩道の整備状況を見ながら事業化に向け検討する。またJR九州と諸条件について協議し交渉を開始する。

**農村環境の整備について**

**質問** 松浦川にそぐ水路の整備と維持管理が必要と思うが、公有水面の整備状況は。

**部長** 法定外公共物の管理は財産管理と機能管理の2つの概念があり機能管理は、地元や関係者に草刈りや浚渫をお願いしている。

**質問** 水路の浚渫はどの様に行われているのか、課題は。

**部長** 農地・水保全管理支払交付金、農村環境整備事業により実施している。災害時に堆積した場合は復旧工事で実施している。農業者だけの維持管理は困難な状況は認識している。国・県と協議し、負

担軽減を図りたい。



歩道整備が進む山本駅周辺



青木 茂  
(志政会)

「健康づくり先進都市を目指して」について

**質問** 学校では、しっかりと管理され、健康づくりに取り組んでいる。この事について家庭と更なる連携が取れないか。

**教育長** 活かして行きたい。

**質問** 公民館で実施する、健康づくり事業への支援が出来るか。又、活動成果の情報発信が出来ないか。

**部長** 行いたい。

**質問** 健康づくりに効果的な旬の唐津産農林水産物は豊富である。健康という付加価値を再認識し、地域ブランドに磨きを掛けてはどうか。

**部長** 展開したい。

**質問** 6次産業化の観点から、昨年からの取り組みは、薬膳なべの今後の対応は。



「漢方を取入れた、薬膳なべ」

**部長** 協力をしていきたい。

**質問** 風光明媚な唐津を活用した、ウォーキング施策に対し、更なる取組みが必要では。

**部長** 唐津に、ウォーキングありという様に取組みたい。

**質問** 健康づくりの拠点、唐津市保健センターの状況は。

**部長** 多くの市民が活用している。駐車場などのスペースの狭さ等、課題もある。

**質問** 健康への意識付けの観点から、市民自らが管理出来る、健康日記の様な、簡単なシステム提供が出来ないか。

**部長** 検討したい。

**質問** 市報などに、健康コーナーを設けてはどうか。

**部長** 検討したい。

**質問** 健康づくりは、教育・農林水産・商工観光・保健福祉と多岐に亘る。唐津市の重要な、まちづくりブランド政策として取組んでどうか。

**市長** 重要なテーマと考え、磨きを掛けたい。





菅山茂成  
(志政会)

これからの水産業（漁業者）への取り組みについて

**質問** 海底耕うんなどの魚場改善事業などは。

**部長** 前回の事業から9年経過している平成26年度の新規採択は可能である。

**質問** 有害水生動物の駆除事業の数はどのくらいか。

**部長** ガンガゼ駆除など3つの事業がある。

**質問** 高島のヒトデ駆除は。

**部長** 潜水器駆除は規則があり難しいと県の見解である。

**質問** ヒトデ駆除に対する県への要望は。

**部長** 佐賀県と相談し今後も協議していく。

**質問** 荷揚げ場の整備は。

**部長** 幾つかの漁港をまとめて国に要望していく。

**質問** 暴風ネットの整備は。

**部長** 今年度から向島漁港で整備を進めている、各漁港の状況を見ながら整備する。

**質問** 相賀の塩害被害整備は。

**部長** 平成23年に地元駐在員から要望もあり状況を確認し対応を検討する。

**質問** これからの漁業振興の取り組みは。

**市長** 豊かな海を守る為に国の事業も活用しながら、新たな事業を含めて検討していく。スポーツ推進委員の位置づけについて

**質問** スポーツ推進委員の位置づけは。

**部長** 非常勤の特別職である。

**質問** 推進委員の定数は。

**部長** 委員の定数は107人以内で現在は97名である。

**質問** 機構改革後のスポーツ推進委員はどうなるか。

**部長** スポーツ振興課が市長部局へ移り市長から辞令交付がされる。



県スポーツ推進委員研究大会の様子



浦田関夫  
(日本共産党 唐津市議団)

坂井市政の新たなスタートについて

**質問** 選挙結果を受けて、市政運営の考えについて。

**市長** どんな場合でも批判はある。力不足で市政の情報十分伝わらなかった。今後は

「現場主義」に徹し、緊張感を持って努力したい。

**質問** 玄海原発の再稼働中止。廃炉が最も安全安心のみちではないか。

**市長** 規制委員会が、新たな基準を策定されるのを見守りたい。市民の安全安心のためにはより実践的な防災訓練が必要と考えている。

**質問** 地域消防団の装備充実を求めることについて

**質問** 地域住民の安全安心の「守り手」として献身的に貢献している地域消防団の活動を装備の面から支援するのは行政の努めである。林野火災に備えて現在の口径より小さい口径ホースの配備を求める。

**消防長** 必要性は認めるが、水量などの面から検討が必要であり、分団とも協議する。

**質問** 分団の費用で団員の被服を購入しているところもある。

**消防長** 要望に応えられるようにしたい。

**質問** 周辺部にはAED（対外式除細動器）設置が少ない。消防自動車にAEDを積載し、緊急時に備えるよう求める。

**消防長** 必要性は認めるが、設置には新たな負担がかかる。人命救助でお願いしたい。



唐津市役所



馬場幸年  
(志政会)

坂井市長の3期目の取り組みについて

**質問** 支所権限、機能について市長の考えは。

**市長** 地域づくりの拠点として支所は大事であると考えている。今議会において機構改革を提案しているのでエリア内での統合も含めて将来支所はどうあるべきかをしっかりと考えていく。また支所での決済についても地域づくりに関することなど支所でも決済できるような仕組みなどを考えていきたい。

**質問** 長松公園について

**部長** 昨年12月の被害の状況及び対応は。

**部長** 昨年の12月20日に公園愛護会の代表者から被害の報

告を受けすぐに担当者が現地に行き、トイレ全面の落書き、紙等を燃やした痕やブランターが荒らされているのを確認した。第一中の生徒及び先生で落書きの除去作業が行われ完全に消えてないところは市で修繕工事した。また被害届を唐津警察署に提出した。

**質問** 抑止力として防犯カメラ設置の考えは、また地域で設置する場合に補助は。

**部長** ほかの公園でも似たようないたずらは起きている。抑止力としての防犯カメラの設置については検討したい。地区の管理であれば唐津地区防犯協会からの補助はある。

**質問** 公園入口階段前のスペースに違法駐車車の車両を見受けるとの対応は。

**部長** 歩道部分であるので駐車できないような対応を平成25年度の予算で検討する。

〈その他の質問〉

◎長松大橋交差点について





白 水 敬 一  
(公明党)

地域(支所)のまちづくりの方向性と施策について

**質問** 市長の現状認識は。

**市長** 均衡ある発展の為にインフラ整備をバランスよく進めてきたが、十分に伝わってなかった。今後総合計画に基づき地域の活性化に取り組んでいく。

**質問** 今後の計画について具体的な方向性を示すべきだ。

**市長** 次期総合計画(H27年1月)について平成25年度中に施策の重点化や事業の選択等方向性を定めていきたい。  
**質問** 支所の組織や問題点の解決・人員配置等の考え方は。

**市長** 昨年11月から組織の見直しの為、支所と協議してきた。支所の組織、業務の効率化集約化について平成25年度中に結論を出したい。

**質問** 厳木町本山区の雨水対策がパイパス開通までの予定が大きく遅れている。今後の具体的な計画は。

**部長** 今年度岩屋駅付近の水路改修を行ない、実施設計の委託費を計上している。その後直ちに工事着手して事業を進めていきたい。

教育行政の方向性と具体的な施策

**質問** 平成25年度の教育方針と重点施策は。

**教育長** 学校教育、社会教育文化財の保護に特化したものになる。「学校マネジメントの強化」考えている。

**質問** 小中学校の学力の状況と具体的な方策は。

**教育長** 平成24年度調査では小学校は県平均、中学校は下回る。各学校が「学力向上アクションプラン」を策定し取り組む。巻木小の取り組みも導入したい。



富 田 幸 樹  
(志政会)

『NEXT STAGE・唐津』次世代の未来のための7つの約束について

**質問** 財政計画に影響を与える職員数について、合併後の職員数の推移は。

**部長** 平成17年度1689人平成24年度1390人で299名

の減となっている。

**質問** 職員採用で市内在住者の割合について。

**部長** 平成25年度新規採用は35名中25名が唐津在住者で71.4%。

**質問** 嘱託職員と臨時職員の推移について。

**部長** 平成17年度84名平成24年度78名となっている。

**質問** 市内で一番の企業は市役所であり、地元採用は9割程度増やしていると思うが、その考えは。

**部長** 出来る限り市内在住者の方々に就職の機会を与えたいと思っているが、職業選択の自由、居住の自由を採用条件に掲げることが難しい。

**質問** 職員が減れば支所の職員も減るのは明らかで、どの様にして市民の声を聞くかが大事だと考える。支所には、その地域の職員を半分ぐらいは配置して、市民と対話を重視していく事が、合併後、地域が淋しくなったという声を払しょくする第一歩と考えるが市長の考えは。

**市長** 現在の役所の問題点、職員の苦勞の一端、これからの役所として民間の良い部分を取入れて、より良いものに近付けて行きたい。支所に関する、支所長の意見をしっかりと受けとめて、地域の要である支所の事を真剣に、発展的に考える。

かり受けとめて、地域の要である支所の事を真剣に、発展的に考える。



唐津市役所庁舎内



榎 崎 三 千 夫  
(清風会)

市政運営の考え方について

**質問** 役所は情報伝達が苦手で、市民に十分真意が伝わっていないとの記事があるが。

**市長** 現場主義を徹底し、市民の気持ちを感じることを大切に、スピード感を持つて的確・迅速に対応したい。

**質問** 今回の選挙において、財政運営を不安視する声が多くあるが、状況説明を求めめる。

**部長** 健全と言える数字ではないが、財政的に弱い団体同士が合併した訳で、強く強くなる訳ではない。合併前に比べれば、合併効果により改善している。

**質問** 財政のスリム化には、どう取り組んでいくのか。



どうなる？唐津市役所庁舎

から漸減していく。歳入規模に合わせた財政運営に取り組んで行かなければならない。合併から8年間、基盤整備に取り組んできた。あと2年で仕上げの段階である。職員の定員適正化、行財政改革の断行、事業の選択と集中が、必要と考える。

**質問** 中期財政見通しが今回提出されたが、経常収支比率が年々悪化しているが。

**部長** 分母の一部である普通交付税が段階的に削減される事と、分子の扶助費や介護保険特別会計繰出金の増加が見込まれる。課題を整理しながら新たな財政計画を、平成25年を目標に策定したい。

**質問** 市債残高は増えているのに、純借入は減っているがこの状況は正しいのか。

**部長** 後年度に高率の交付税算入がある有利な起債を活用し、合併前の交付税措置が低い起債の償還が進み、純借入は年々減少して行くと考える。





中川 幸次  
(公明党)

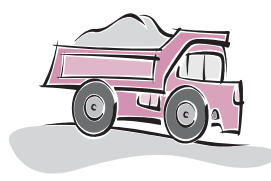
国の交付金・助成事業に対する市の活用について

**質問** 国の平成24年度補正予算の中には、緊急経済対策として「防災・安全交付金」549.8億円が創設され、自治体のインフラの総点検と修繕更新などが実施できる。市はどのように活用しているのか。  
**部長** 今回の、本市の経済対策の中では、「道路改良舗装費」という事業で3億6370万円の予算を計上している。市道の法面対策や舗装補修のほか、路面の状況調査、トンネルの点検、道路照明の調査、道路防災点検、橋りょうの定期点検等を行う。

**質問** 「防災・安全交付金」を今後どう活用するのか。  
**部長** 「防災・安全交付金」については、平成25年度予算においても1兆460億円が盛り込まれている。これまで国の財源が入らなかつた分野で、詳細な情報が伝わってきていない部分も多くあるが、交付金の趣旨に沿って市の経済に有益となるよう活用する。

**質問** 国の緊急経済対策に伴い「地域の元気臨時交付金」が創設されたが、その目的と仕組みはどうなっているのか。  
**部長** 今回の国の補正予算による公共事業の地方負担分額の約8割について、国が別途交付金を交付するという仕組みで、今回、経済対策として多く取り組んだ自治体ほど多くの交付金が交付される。交付金は、6月の補正予算で対応し、活用方法はこれから検討する。

＜その他の質問＞  
◎生活困窮者への支援について



中村 健一  
(志政会)

国際リニアコライダー計画誘致について

**質問** リニアコライダー（LCC）計画の目的と概要は。  
**部長** 未知の粒子の発見や宇宙誕生の解明を狙う国際プロジェクト。建設後の運用期間は20億円。建設後の運用期間は20

30年が見込まれる。  
**質問** 本市を含む背振山地が候補地の一つになっている。決定した場合、地域にもたらず効果とデメリットは。  
**部長** デメリットは無いと考える。教育面においては、次世代の科学技術を担う人材の育成。産業面では九州域内の産業活性化。都市形成面で、交流人口増大など、大きな効果が見込めると思う。  
**質問** 背振山地での地質調査の状況は。  
**部長** 平成25年春ごろに第1次調査が完了予定。背振山地は、福岡・佐賀両県にまたがり、強固な地盤を持つと思われ、現在七山地区で地質調査中であり、良好な結果が期待される。  
**質問** 佐賀、福岡両県の誘致に向けた取り組みは。  
**部長** 平成19年に佐賀、福岡両県知事が顧問を務める「先端基礎科学次世代加速器研究会」を設置し、これまでに両県において講演会等を開催。  
**質問** 今後の取り組みは。  
**市長** 今年2月に、産学官民による「EILC唐津推進協議会」が設立された。関係機関と連携、協議しながら諸活動に取り組んでいる。現在、市民や会員を対象と

した講演会や研究会を行う予定であり、市として出来ることを最大限に行い、EILC構想の実現に努める。



国際リニアコライダー講演会



山中 真二  
(清風会)

危機管理対策の充実について

**質問** 唐津市でも危機管理、危機意識を持つことが大切と思うが、その充実を図るためには人材の育成と人づくりが大切である。  
戦国時代の武将、武田信玄公は、「風林火山」の旗印のもとに戦国の世を生き抜きました。この意味を今の時代に直せば「事に対して素早く俊敏さもって動き」「冷静に受け止め」「事を成す時は畳みかけて成し」「事に対して地に足をつけ、腰を据えて見守らせて頂く」の意味でこの思いが今の世も必要だと思ふ。危機意識を持つことで、前向きで建設的な心が出て来て

いろいろな問題を解決する糸口にもなる。  
また唐津には沢山の宝ものがある。伝統、文化、歴史があり美しい景観が広がり、ブランド化された農林水産物もある。地元の企業も頑張っている。市長は、危機管理の充実を図るため、そして元気な唐津を作るために、どう取り組んで行く考えか。  
**市長** 職員の能力、士気を高めるため「人材育成型人事評価制度」を構築試行し、研究や自己啓発研修に取り組み。地域資源を更に活用し、地域、都市、世界の力を唐津の発展につなぐ文化的歴史的資源や自然、景観などの「宝」を磨き、相互に繋ぎ、情報発信する。  
「唐の津風景街道」の取り組みを推進し東アジアを中心とした海外との経済交流及び観光交流の強化を図る。各支所の機能の充実を図り活性化と活力を生み出す。



人材育成



志 佐 治 徳

(日本共産党)  
唐津市議団

TPP参加について

**質問** 2年前の3・11の時、私は農協が取り組んでいたTPP参加反対署名に市長が賛同し署名するよう一般質問を行った。しかし、「情報が不十分、収集し市民と議会が自ら判断できる場を提供したい。」との答弁でした。その後、新たな情報を得られたか。

**市長** メリット、デメリットを含め、国県から新たな情報を得ていない。市民の議論ができない中でのTPP参加交渉には反対である。

**質問** TPPに参加してない今でも中山間地の状況は大変だ。参加すれば2年前の答弁だと、米は9割輸入米との予測でしたが、そうなれば農家人口が減ると思うが。

**部長** どういう影響があると言ふことは申し上げにくい。

**質問** 一九六〇年代、自給率は80%程度だったが今は39%なぜ低下したのか。

**部長** 食事の洋食化、米離れなどがある。日本が工業国として成長してきた。

**質問** この50年間にオレンジ、米がWTO協定で野菜が輸入

されるようになった。大企業の人身御供として日本農業が犠牲になってきた。佐賀県の自給率は94%と高いのに農家収入は低い。増やすための施策はあるか。

**部長** 人・農地プランを作成し、その中で所得を上げていく取組をしている。

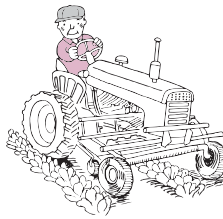
**質問** 欧米諸国は、高関税、農家への直接支払、輸出補助金、価格支持政策の組み合わせによる政府からの保護により高自給率となっている。

**部長** 日本は価格政策を廃止した。



伊 藤 一 之

(社民党)



地方交付税の削減と、給与削減について

**質問** これまでの、人件費削減の取り組みは。

**部長** 定員適正化計画に基づき299人削減し、対比で21億7千万円、累計で81億2千万円削減している。

**質問** 地方交付税を削減し、給与を削減する要請があっているがどう考えるか。

**部長** 給与の削減とセットには、県内の首長も意見している。県の会議などの折に意見申したい。

**質問** 唐津市の地方交付税への影響は。

**部長** 約2億5100万円になると試算している。

**質問** 唐津市経済への影響などを考えれば、安易に給与削減を実施すべきではないが。

**部長** 現在は白紙。国県の状態を見守る。

特別支援教育について

**質問** 特別支援教育の現状と基本的な考え方を。

**教育長** 基本的には障害の教育的ニーズに応じた支援をしていく。現状は特別支援学級数63学級131名在籍、その他要支援生徒約300名と把握。コイデイナーター63名を配置している。

**質問** 就学指導の在り方は。

**教育長** 入学前の就学相談会の開催。就学指導委員会での審議など、保護者等の理解を得て就学指導をしている。

**質問** 専門家の配置は。

**教育長** 国の動向を見守る。**質問** エレベーター、トイレの整備は。

**部長** エレベーターは大規模改造等の際に設置。洋式トイレも来年度までに整備をする。



平 野 潤 二

(清風会)

唐津市長の市政運営について

**質問** 市長選挙の結果とこれからの市政運営の考えは。

**部長** 唐津市の事業の情報が市民に伝えられなかった。市政運営は7つの公約を基本により現場主義に徹したい。

**質問** 市長選挙のテーマの支所の活性化の方策は。

**部長** がんばる地域応援等の事業を拡充し、支所完結型の決済で事業推進をしたい。

**質問** インタビューで集中と選択をしていくと述べられたが、厳しくなる財政問題と併せての考えは。

**部長** あと2年で総合計画の事業が終了するので、唐津の財政規模に合った事業を精査する。

**質問** 今回10年間の財政見通しが示された。厳しい指標で投資的経費が減り、市民の不満の声も出ると予想されるが、市長の考えは。

**部長** 職員削減の人員費減、各種事業の精査で、「住みたいまち唐津」実現に進めていきたい。

**教育問題について**

**質問** 唐津市の人材育成の事業方針は。

**部長** 「いきいき学ぶからつ子」育成事業等で学力もついてきている。その他育成事業等も実施している。

**質問** 若いうちに世界を見ると今後の将来の仕事等のプラスになるが、海外留学、視察等の考えは。

**部長** 海外を見ることは、自信につながる。県事業、民間の事業に10名の実績がある。

**質問** 唐津市としても人材育成が必要ではないか。

**部長** 職員アカデミー等の研修で人間力の発掘に努めたい。



少年スポーツも人材育成事業





宮崎 卓  
(清風会)

唐津市の活性化の花いっぱい運動について

**質問** 唐津市緑花施策方針は。  
**部長** 平成17年に条例を施行、市民一体となって緑花に満ちた明るい環境整備を推進し、健康で清潔な街づくりを行っている。

**質問** 各部の取り組み状況は。  
**部長** 「建設部」で公園関係6事業、さが緑の基金助成事業3事業。「農林水産部」で農地・水保全管理支払交付金共同活動で市内82地区、棚田地域保全活動支援事業で2事業。「林務」では観音滝周辺の市有林にケヤキ、イチヨウ等植栽。「商工観光」では主な花情報11ヶ所をPRしている。「教育委員会」では浜玉婦人会で駅やひれふりランドに花植栽をしている。

**質問** 花運動継続の課題は。  
**部長** 人材育成と資金調達、花の名所づくりなどが課題。  
**質問** 他の自治体の取組は。  
**部長** 県内外の事業もボランティア団体や、国・県の事業と関わっているのが特徴。

**質問** この運動を継続し地域コミュニティの熟成を図り、

地域の活性化、観光周遊ルートの確保はできないか。  
**部長** 緑花祭を柱に継続が大事。国の交付金事業や地域の花に対するニーズが高まれば公民館事業等に取り入れたい。

**質問** 各支所に緑花推進の協議会を作れないか。  
**部長** 検討したい。

**質問** 花いっぱい運動により「いつてみたい街唐津」を実現すべきと思うが、考えは。  
**市長** 緑花推進により、地域の花を織り交ぜた観光ルートづくりを目指したい。

**質問** 花いっぱい運動について  
**部長** 審議会等の女性の比率は。女性比率が0の審議会について検討ができないか。女性の声は反映されているか。現状把握をすべきと考えるが。

**部長** 55の審議会の中で目標35%に対し34・8%。今後比率については検討する。  
**市長** 女性の委員から発言が出るように、声を引き出せるように会議を進めたい。状況把握に努める。

**住宅対策について**  
**質問** 公営住宅を希望する人が多い。市営住宅の建設、改修計画はどのようになっていくか。今後は保護世帯の方に民間住宅に住んでいただくことで、住宅問題の解消、民間の活用、市の経済的負担の軽減にならないか。  
**部長** 住宅ストック計画の中で鏡住宅の改築、美保が丘の改築等を予定。保護世帯の方

にも同じように抽選に参加していただいている。

様々な議論があり、これから検討する課題となっている。  
**質問** 蔵木コミュニティセンターの整備計画はどうなっているのか。補正で耐震化が予算化されているがその内容は。  
**部長** 今回の補正での耐震化は、屋根面の筋交いの増設と梁、柱の補強の工事で、施設の改修は行わない。「唐津市公民館等施設整備計画」に基づいて整備をしていく。原則として、建築年次の古い施設から整備をしていく。

**質問** この施設の他にも老人いこいの家、蔵木支所も老朽化している。これらの施設を集約した複合施設の建設予定地としてみかん選果場跡地の購入を検討してはどうか。  
**部長** 意見書にある用地の取得については、今後検討していく。  
**市長** 蔵木全体の振興を考えながら、地元の方の意見を十分に聞いて今後検討したい。



宮崎 千鶴  
(公明党)



花いっぱい運動

虹の松原再生と課題について  
**質問** 今後の再生保全計画はどのように。課題の対応は。  
**部長** 平成25年度に第2期の実行計画を策定する。第1期で想定できなかった分を反映させる。

蔵木みかん選果場跡地



中 秀和  
(志政会)



虹の松原フェスタでの虹松クリーンレース大会

蔵木みかん選果場の跡地活用について  
**質問** 選果場の跡地利用について、地元からの要望は。  
**部長** 蔵木地域審議会で、数回にわたり活用について審議がなされ、平成21年11月19日付で、唐津市長に「蔵木幼稚園と中島保育園を統合した認定こども園の建設、また、蔵木コミュニティセンター建設予定地等として購入していただきたい」という内容の意見書が、審議会長から提出されている。

蔵木みかん選果場跡地



蔵木みかん選果場跡地



古藤 豊志 (清風会)

青少年の健全育成について

**質問** 市内の学校でどのような問題行動が起きているのか。

**教育長** 対教師・生徒間・対人暴力・器物損壊の暴力行為。

**質問** 問題行動を起こす子供への指導、取り組みについては。

**教育長** 学校への指導、指導主事等の学校訪問、教育委員会全課をあげての挨拶運動、支所の支援、指導員の配置などの取り組みを行っている。

**質問** 学校の職員駐車場の防犯カメラの設置については。

**教育長** 必要と判断されれば設置を検討したい。

**質問** いきいき学ぶからつ子育成事業の「一小中連携事業」について平成25年度までの3年間となっていたが今後の方向性については。

**教育長** 1年延長し、平成26年度までの3カ年をめどに検証し、その後の事業に生かしていきたい。

浜玉町中心市街地の活性化について

**質問** 浜玉町に企業誘致の平成26年1月オープン予定のHRK唐津支店より他に、今後浜玉町に企業進出の見込みは。

**部長** 化粧品産業の集積を狙った企業誘致「コスメティックバレー」構想を進めている。

**質問** 企業進出等により人口増が見込める浜崎駅の改修は。

**部長** 駅周辺開発についての全体的な調査を行いその結果で、費用対効果について見極めを行い検討する。

**質問** 今後の方針については。

**市長** JR九州株に対し、緊急整備事項として、駅施設のバリアフリー化、駅舎の暴風雨施設の整備を要望している。施策の実現に向けた駅周辺地区における調査の実施を検討



山下 正雄 (志政会)

地域の活性化について

**質問** 地域では支所が寂しく遠くなったとの声がある。平成26年12月に廃止になる地域審議会の検証はされたのか。

**部長** 地域審議会は権限がなく、諮問機関や意見を聴く場で、委員の数が限定される。



浜崎駅ホームと歩道橋

**質問** 地域審議会の後継組織は必要である。地域のことを自ら考え企画し行動運営する組織がいい。財源は現在ある各種補助金を拡大し、多人数で構成する。支所を事務所として自由に活用使用する。支所長がコーディネートする組織では、支所も身近になる。

**部長** 同じ様な構想を持っている。もっと練ってみる。

**質問** 支所管内では事業所が減っている。データは。

**部長** 商工会員数は平成19年24年では、会議所地区は横ばい、蔵木地区 23・3%、七山地区 22・4%、肥前地区 19・0%、呼子地区 15・8%である。

**質問** ロールカル発注の現状は。

**部長** 唐津市内に本社を置く業者を最優先として、支所独自に管内業者との間で単価契約を取り交わすことができる。

**質問** 下請工事はどうか。

**部長** 要項で、下請契約を締結する場合、唐津市内に本店・営業所を置く者から選定するよう努める。

**質問** 今3月の補正予算で45億円の経済対策が行われ波及効果は70億円以上と説明された。その効果がすべて唐津市内に落ちるような対策が必要。

**部長** 更に地域業者の育成と

地域産業の活性化に配慮する。

**質問** 地域の特性をいかした政策事業が地域を発展させる。

**部長** 選択と集中をしていく。



唐津商工会議所



石崎 俊治 (志政会)

安心安全のまちづくりについて

**質問** 市内の道路の維持管理補修等の現状把握と、経済対策等を活用した対応は。

**部長** 道路については、757件の要望に対し、570件について対応する予定。

**質問** 山沿いの集落の安全確保の為、予防・復旧治山事業や保安林改良事業に対する要望箇所数と対応について。

**部長** 要望箇所数は43箇所把握している。その内、36箇所について事業実施や地元調整に着手していく予定。

**質問** 児童公園や遊園地の遊具や施設の安全対策について。

**部長** 新年度に公園の長寿命化計画を策定し、社会資本整

備総合交付金等を活用し、遊具や施設の更新をユニバーサルデザイン等の取り入れ計画的に取り組んでいく。

**質問** 介護施設における防災・防火対策について。

**部長** 2月中旬、国からの通知により、消防署が全ての老人福祉関係の特別査察を実施して、不備なところについて指導をされたと聞いている。

**質問** 介護施設等の耐震化などの施設整備の状況は。

**部長** 昭和56年以前建築の施設は未整備となっているので、耐震診断等を指導したい。

**質問** PM2.5の市内での観測状況と市の対応は。

**部長** 西唐津中学校の敷地内に測定局があるので、測定値をホームページ等で公表中。

**質問** PM2.5に対する保育園・幼稚園等での対応は。

**部長** 基準値を超えると予想される場合、屋外活動は控えるよう、幼稚園・保育園・小中学校に注意を喚起している。







大西 康之  
(志政会)

観光行政について

**質問** スタンプラリーを期間限定とされた理由は。

**部長** アルビノ駐車場有料化の周知を図る目的であるため。

**質問** HPで、観光に特化した情報を掲載にすべきではないか。  
**部長** 指摘の通り改善していきたい。

**質問** まちなか周遊コースの策定を、平成24年度中に行うとの事であったが状況は。

**部長** 8コースを選定している。今後体験メニューを充実させ、魅力向上へつなげたい。  
**質問** 8コースの関係団体との協議はなされたか。  
**部長** 各個店との協議は行った。関係団体との協議は今後行っていきたい。

**質問** 東京駅100周年に絡み旧唐津銀行も注目される年であるが、旧唐津銀行活用のための予算が計上されていないか。  
**部長** 地元の賑わい創出の為に市内で検討していく。

市街地交通体系について  
**質問** 東唐津―町田線の進捗状況は。  
**部長** 平成25年度から地権者との折衝を再開したい。

**質問** 中心市街地の骨格軸と位置図けられている、唐津駅―大手口センタービル間の整備については。  
**部長** 商店街において、アーケード整備やパティオの計画が進行している。その内容を注視し、一体感が醸成出来るように取り組みたい。

**質問** 呉服町アーケードについてのは。  
**部長** 優位な補助金の活用など、商店街、まちづくり団体行政、地域全体が一体となつた慎重かつ十分な協議を行い、事業を推進して行く。

**質問** 中心市街地の活性化するための雇用対策について  
**質問** 雇用情勢、役所職員の正規・非正規雇用の現状は。  
**部長** 有効求人倍率0.63倍、正規・非正規比率35%。市職員は正規職員1390人、臨時職員は30人。



井上 祐輔  
(日本共産党 唐津市議団)



大手口からみた呉服町アーケード

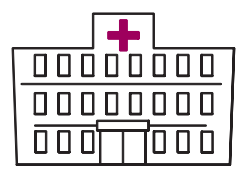
**質問** 今後の方向性は。  
**部長** 国の緊急雇用対策と企業誘致。企業誘致は継続。  
**質問** 誘致企業への実績は。  
**部長** 19件の誘致(2社が撤退)計画では936名の雇用増交付実績は7社に対し約1.7億円。

**質問** 地場産業の育成、新産業の研究など雇用対策室が必要では。  
**部長** 今後、検討したい。  
**質問** 現在の海岸線の状況は。  
**部長** 東唐津地区で、砂流出で人家等への影響の恐れがあり、住民の反対があり中止。浜崎海岸は護岸整備をしたが、侵食は止まらず養浜した砂の流出も止まらない状況。

**質問** 今後の対策は。  
**部長** 抜本的対策のため県と協議し湾全体での調査が必要と認識している。  
**質問** 地域の住民を交えた対策協議会が必要でないか。  
**部長** 専門家を中心に原因究明と対策案を提案し、住民を交えた協議の場を設置していきたい。

**質問** 日赤病院移転後の跡地の利用について  
**質問** 移転後の計画は。

**部長** 今は白紙の状況。  
**質問** 地域住民を交えた検討委員会が必要ではないか。  
**部長** 検討したい。

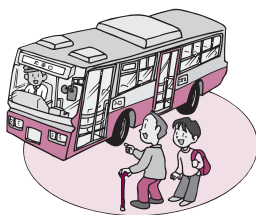


進 藤 健介  
(志政会)

**質問** 中心市街地活性化基本計画について  
**質問** 中心市街地活性化基本計画エリアを覆う各計画とそのエリアは。  
**部長** 六つの計画があり、各々の目的、主旨を含まれてエリアが決められている。  
**質問** この計画の総合的取り纏めは企画経営部と思うが。  
**部長** 各計画の最終的効果は、エリア内の経済の活性化を目的としているので商工観光部で取り纏めている。

**質問** 中心市街地の活性化にはバス利用客の増が不可欠だと思いが、乗降客の推移は。  
**部長** データは持っていない。  
**質問** いきいき唐津への発注は全て随契であるが何故か。

**部長** 中心市街地と密接な関係、「第2の公」の位置付け、優秀な人材を有している。この三点から随契としている。  
**質問** 「街づくり」の使命感をもって使命を果たしている立派な会社とは思えないが。  
**部長** 努力をしているとは思っている。  
**質問** いきいき唐津は毎年平均2400万円の補助・委託事業費がないと運営できないのではないか。  
**部長** 事業ありきで実施しているが結果そうなっている。  
**質問** いきいき唐津の平成23年度決算では国・市の補助一千百万円の営業外収益を頼りの運営であるが健全な経営とは思えないが今後の対応は。  
**部長** 私自身の指導不足と反省している。今後は、まちづくり会社の本旨をしつかりと話をし、認識をして頂き、改めるところは改め、真に中心市街地の活性化を担う組織体になるよう努めて行きたい。



3月議会で下記4件の意見書を可決し、関係機関に提出しました。

## 意見書(要旨)

市議会では、意見書について権限を持っている行政機関に提出し、解決を求めるために議会としての意思を表明しています。

### 意見書第1号 TPP交渉参加に反対する意見書 平成25年3月8日可決

例外なき関税撤廃を原則とするTPPは、食料供給を海外に依存し、国土を荒廃させるものであり、国内農業や地域経済の振興とは到底両立できるものではない。よって唐津市議会はTPP交渉参加に慎重な対応を求め、交渉参加反対の意思を表明する。

### 意見書第2号 国による地方公務員の給与削減を講ずる要請に対する意見書 平成25年3月26日可決

国と地方の信頼関係を重視する立場から地方公務員給与費に係る地方交付税などについては、地方との十分な協議を踏まえるよう要望する。

### 意見書第3号 生活保護制度の見直しに関する意見書 平成25年3月26日可決

生活扶助基準は、税制や社会保障制度、生活の様々な施策に連動しているため、その影響は、低所得者を中心に国民生活に大きな負担増を強いることが懸念されるため、再検討を求める。

### 意見書第4号 年金の削減の中止を求める意見書 平成25年3月26日可決

デフレの下のマクロ経済スライドの実施は、限りない年金削減の流れを導くものとなり、若者を中心に年金離れが一層進み年金制度への信頼はさらに低下することが懸念される。高齢者の生活と地域経済を守るためにも再検討を求める。

意見書の全文及び提出先は、唐津市議会のホームページで確認できます。

## 請願審査報告

### 請願第1号

請 願 名	唐津市内小学3年生での35人以下学級実現を求める請願	不 採 択
-------	----------------------------	-------

「唐津市の予算で教職員を採用し、新3年生の35人学級を実施してください」との請願については、義務教育の基盤である教育の機会均等や水準確保のためには、国の責任において、計画的な教職員定数の改善が必要である。

唐津市議会としては、学校が抱える様々な課題に適切に対応し、より質の高い充実した義務教育が実現するよう、今後とも国に対し意見、要望等を行うなど全力で取り組むことにしている。

### 編集後記

市議会改選後、はじめての「議会だより」メンバーも一新し、若返りました。

市民の皆様の付託を受けた議員が発言した内容を、正確にわかりやすく掲載していきたいと思っております。

皆様方も議員にいろんな声をお寄せ下さい。

### 「唐津市議会だより」編集委員会メンバー

- |             |           |
|-------------|-----------|
| ・委員長 白水 敬一  | ・委員 井上 常憲 |
| ・副委員長 水上 勝義 | ・委員 伊藤 一之 |
| ・編集長 大西 康之  | ・委員 笹山 茂成 |
| ・委員 富田 幸樹   | ・委員 井上 祐輔 |
| ・委員 江里 孝男   | ・委員 田中 秀和 |
| ・委員 吉村慎一郎   |           |